



学校教育目標 「心身ともに健康で、個性豊かな実践力のある子どもを育てる」

～ 困いさつ ぞうじ けんきょう 「あそべ」をがんばろう ～ いじめをなくそう ～

### ◇明けましておめでとうございます◇

「明けましておめでとうございます」「今年もよろしく申し上げます」

冬休みを終え、静まり返っていた学校が子どもたちの元気な声で活気が戻ってきました。子どもたちも久しぶりに友だちと会って、教室や運動場でいつものように楽しく元気よく遊んでいます。教職員も新年を迎えた喜びとともに、新しい気持ちと希望を胸に新年のスタートをきりました。子どもたちには丁寧に一日一日を積み重ね、「充実した生活」につなげて行ってほしいと思っています。

さて、後期の後半（1～3月）は、それぞれの学年のまとめとともに、次の学年への準備をする大切な締めくくりの時期です。2月には「6年生を送る会」、令和2年度前期の「児童会役員選挙」、そして1年間の中でも最も大切な行事である「卒業式」が予定されています。特に6年生にとっては最後の学校行事になります。素晴らしい思い出になるように準備を進めていきたいと考えています。

### ◇新しい年の始めに…◇

新しい年の始めに、7日（火）の冬休み明けの放送集会で、「初心忘るべからず」「人から背負わされた荷物は重い、自分から背負った荷物は軽い」の2つの諺を用いて話をしました。

#### 「初心忘るべからず」・・・目標を立てて、がんばろう

「初心忘るべからず」という言葉は、およそ600年前、能を大成した世阿弥（ぜあみ）が残した言葉で、『花鏡（かきょう）』という伝書には次のように書かれています。

「是非初心を忘るべからず。時々の初心を忘るべからず。老後の初心を忘るべからず。」

一般的には「最初の志（心に思い決めた目的や目標）を忘れてはならない」という意味で使われますが、世阿弥が言うのは、人生中にはいくつもの「初心」があり、自分自身の成長に応じてその都度、志を立て、「初心」を持ち、常に向上心を持ちなさいという事です。子どもたちには成長の節目節目はもとより、頑張ろうと思ったときに自分なりの目標をしっかりと持ち、努力して行ってほしいと考えています。

#### 「人から背負わされた荷物は重い、自分から背負った荷物は軽い」・・・何事も積極的にやっぺいこう

何事でも人に言われてやるのは心が重いやなもの。ところが不思議なことに自分から進んでやると、そんなに嫌な思いはしません。「自分から背負った荷物が軽い」というのは、自分から積極的にやっぺいこうという気持ちがあると、意外とその苦しさや重さを感じることは少ないということです。

また、昔からよく使われる言葉に、次のような進んですることと言われてすることの違いをはっきりさせている言葉があります。

「進んでするのは上の上 真似てするのは中の中 言われてするのは下の下」

子どもたちには、自分で物事をしっかりと考え、自分で選んだ道は自分から背負った荷物と考えて、どんなに大変でも積極的な気持ちでやり遂げて行ってほしいと思っています。

### ◇校舎の改修工事について◇

#### ートイレの改修工事についてー

これまで、保護者アンケートの中で、衛生・環境面についてトイレの臭いについてのご指摘をいただくことが多々ありました。児童トイレの臭いについては、普段は換気扇を動かすとともに、定期的に職員による掃除や、消臭剤や消臭ボールもつかってききましたが、なかなか改善が見られませんでした。今回の工事は伊勢市教育委員会が進めているトイレの一部洋式化の工事であり、臭いへの対策工事というわけではありませんが、ある程度、臭いの改善が期待されるということです。男女トイレやそれぞれの階によって改修内容は違いますが、おむね男子トイレは洋式1和式1であったものを洋式2にしたり、ウォシュレット便座に交換したりします。

女子トイレは洋式1和式4であったものが洋式3和式2になります。

工事期間は1月18日(土)～3月14日(土)で、2期に分けて行う予定です。第1期は2月中旬までに1～3階東側トイレの改修を、その後、第2期は1～3階西側トイレを行う予定です。その間、子どもたちには通常使っているトイレの場所を変更することになり、負担をかけてしまうことになります。また、工事期間中に工事車両が三角駐車場の校舎フェンス側に6台駐車するため、子どもの送迎にもご迷惑をおかけすることになります。ご了承ください。

### ー2階、3階特別支援教室の改修工事についてー

特別教室棟の建築に伴い、これまで音楽準備室、理科準備室で使用していた教室を特別支援教室に改修する工事が1月下旬に終わります。現在、天井や壁面の掲示板などの張替えを行っており、完成後は特別支援学級として広い教室で子どもたちがのびのびと学習することが出来る教室になります。

### ◇「児童虐待」って知っていますか?◇

この世に生を受けたすべての子どもたちは、愛され、幸せに生き、育つ権利を持っています。しかし現実には児童虐待や子育て困難などといった実態や、さまざまな問題が起き、特に子どもの命が奪われるような重大な事案がテレビや新聞等で報道されるたびに、私たちは胸を痛め、悲しい思いをします。毎日の生活の中で、食事・入浴・睡眠など、基本的な生活習慣が身につけられない環境の中で育つ子どもたち、大人中心の生活に置き去りにされている子どもたち、しつけと称して体罰、無視、言葉の暴力など、安心した日々を過ごせない子どもたちがいます。児童虐待には下記のものがあり、子どもに関わるすべての大人が「児童虐待」について理解し、子どもを一人の人間として尊重し「子どもの権利」を侵害していないかを常に意識していくことが重要です。

#### 身体的虐待

- 殴る、蹴る、おぼれさせる
- 首を絞める、投げ落とす、激しく揺さぶる
- 戸外に閉め出す
- 意図的に子どもを病気にさせる

#### ネグレクト(療育の放棄・怠慢)

- 適切な衣食住の世話をしない
- 家に閉じ込める(学校に登校させない等)
- 病気になるまで病院へ連れて行かない
- 子どもの情緒的欲求を無視する

#### 心理的虐待

- 大声や言葉による脅かし、無視する
- 子どもの心を傷つけることを言う
- 他のきょうだいのと差別して扱う
- 子どもの前で家族に対して暴力をふるう(DV)

### ー児童虐待の早期発見、通告についてのご理解ご協力をお願いー

平成16年2月に改定された「児童虐待の防止に関する法律」では、子どもに理由がはっきりしない傷や痣があったり、虐待の疑いがある場合、「通告は国民の義務」と定められています。特に学校や保育所など、子どもに関係する機関の職員は、児童虐待の早期発見に努めなければならないとされています。このため、学校や保育所などは、理由がはっきりしない

傷や痣を発見した場合、虐待の有無に関わらず、市役所や児童相談所へ通告しなければなりません。市役所や児童相談所は通告を受けると、確認のために家庭訪問をしたり、子どもを一時保護する場合があります。確認したら虐待ではなかったという場合もありますが、通告によって救われる命もあります。保護者にとって「しつけ」でも、子どもの心や身体が傷つく行為であればそれは「虐待」になります。明野小学校においても上記の対応をとらせていただく方針ですので、児童虐待の早期発見、通告についてのご理解ご協力をお願いします。

### ー子育てや家庭についての悩み事は相談をー

子育ては休みがなく大変で、不安や悩みはつきものです。イライラして怒鳴ってしまったり、手を上げてしまったりしてしまうこともあるかも知れませんが、弱音や悩みを打ち明けることは甘えでも恥ずかしいことでもありません。子育てに困ったとき、辛いと感じたときはぜひ学校に相談してください。特に伊勢市子ども相談センター(21-5716)、健康課、子育て支援センター、児童相談所などでも受け付けています。

### ◇「保護者アンケート」にご協力ありがとうございました◇

11月13日(水)～11月20日(水)に実施しました「保護者アンケート」へのご協力、ありがとうございました。「保護者アンケート」や、6月24日(月)～7月3日(水)に実施した「第1回学校生活アンケート(児童用)」、11月12日(火)～11月19日(火)に実施した「第2回学校生活アンケート(児童用)」等の集計結果については後日、ホームページの学校だより「あけの」のページに掲載する予定です。また、頂きましたご意見や改善点についても改善活動に取り組むとともに、学校としての考えも少しずつ回答してまいります。

#### 性的虐待

- 性的ないたずらをする
- 性交、性的行為を強要する
- 性器や性交を見せる
- ポルノグラフィの被写体にする